



消費者モニター活動報告

第62回 消費者モニター会議 Vol. 4

2014年2月21日、「食のサポーター」による第11期消費者モニター会議、第4回目(最終回)を開催しました。

今回は、「高齢化社会の食事を楽しくするために」と題して、介護食の現状を紹介し、弊社商品「ソフミート」で作った美味しい介護食「ソフト食」を実際に試食していただき、ご家族あるいはご自身の将来と照らし合わせて、意見交換を行いました。会議で得た情報を弊社の今後の商品開発に活かせるように努めて参ります。

会議風景



スタッフの説明にみなさんの介護食のイメージが変わったようです。

「ソフミート」で作ったソフト食！
普通食と比べても介護食は見劣りしません。



皆さん、お味はいかがでしょう。
「これなら歯がなくても食べられる！」

和菓子のカタログに
「わ～ きれい！」



サポーターの方々のコメント

○ 介護食の取組みを今後どのようにしたらよいか

- ・ 今も大変な思いをしながら介護食を作っておられる方がたくさんいるはずですよ。
- ・ 林兼産業の商品が、病院・施設だけでなく一般の消費者にも手に入るようになるとよい。
- ・ 普段、食品売り場で介護食を見かけることがなかったので、どこで販売されているのだろうと思います。もっと、手軽に購入できるよう、また高齢の方にもこんな商品があるんだよと知ってもらえると良い。
- ・ 自分が以後を受ける側として考えた時、飽きのこない食事の提供が何より嬉しいと思う。

○ 高齢者の食事について、知ることができてよかった点は？

- ・ 高齢者だから見た目などあまり意識しなくてもよいと思っていたけど、林兼産業が取り組んでいる「ソフミート」などの「ソフト食」は「見た目の大切さ」を重視している点に驚きました。
- ・ 自分が食べる側になったらどう感じるか、提供する側になったらどう感じるかを他モニターさんの意見を聞くことで様々な課題があることを知りました。
- ・ 高齢になると様々な機能が衰えてしまう分、少量でも栄養を考えて一食一食を大事にしなければならぬことがわかりました。
- ・ 高齢になると衰えてくる機能を判りやすく説明してもらったので、なぜ介護食が必要なのがよくわかった。機能が衰えても美味しく楽しい食事ができるという事は、自分が高齢者になった時も苦痛ではなく、明るい食事が待っているのが安心することが出来た。
- ・ 高齢者の食事や介護食は特別なものだという気がしていましたが、「ソフミート」で作った「ソフト食」は、普通食と同じで見た目や味など美味しく食べる工夫がたくさんで変に構えて特別視するものではないんだと判りよかったです。
- ・ 高齢になると衰える機能を知ることができてよかったです。噛む力だけのせいではなく、胃液や唾液の分泌量のことなど自分が高齢にならなければわからないことなどで教えていただけ勉強になりました。

○ 消費者モニターへ参加されてどのように感じられましたか？

- ・ モニターにならなければ、必要になるまで考えることもなかったと思うし、興味もなかった。「ソフト食」を知り、思い描いていた介護食との違いに驚かされました。
- ・ 介護食=ドロドロ、まずいというイメージを持っていましたが、「ソフミート」で作った「ソフト食」を見て、印象が変わりました。「ソフト食」の野菜の下ごしらえについても教えていただき、色鮮やかな盛り付けに介護食への抵抗感が薄れました。見た目を大切にすることで、食欲の増進を図れることも知り、参考にしていきたいと思う。
- ・ 高齢化社会の現状や介護食が求められる背景などの解説・説明がとてもよくわかりやすかった。食べることは、やはり一生の楽しみだと思います。見た目80%の重要性はよく理解できました。

- ・ 現在の高齢者の方たちの食事が実際どのようなものであるのかを実感し、また体験することが出来てよかった。